

私立大学図書館協会 2023年度西地区部会総会議事要録

本総会は、2023年3月3日に開催された私立大学図書館協会2022年度第2回西地区部会役員会（西地区部会長校・各地区協議会理事校・西地区部会監事校で構成、以下 役員会という）および2023年6月15日に開催された、私立大学図書館協会2023年度第1回西地区部会役員会で承認された開催形式によって、実施された。

メール会議における総会成立要件については、昨年に倣いオンラインフォームへの回答数をもって出席者とみなした。

日 時：2023年6月16日（金）各地区理事校配信時間～22日（木）18時まで

実施方法：メール会議（資料メール配信）／オンラインフォームによる決議

出席校：182校（加盟館247校）：73.7%

※加盟校247校に対し過半数の出席があり、私立大学図書館協会会則第29条第4項に則り、本部会総会は成立した。

議事録

1. 報告事項

1.1 2022年度西地区部会会務報告

資料により、2022年4月～2023年3月における下記活動内容の報告があった。

- (1) 西地区部会加盟校について
- (2) 役員会
- (3) 西地区部会総会
- (4) 西地区部会研究会
- (5) 研究会運営委員会

1.2 各地区協議会会務報告および各地区協議会研究会報告

資料により、2022年4月～2023年3月における下記活動内容の報告があった。

【東海地区協議会】

- (1) 総会
- (2) 常任幹事会
- (3) 研究会関係
- (4) 東海地区協議会スリム化検討ワーキンググループ会議
- (5) 東海地区協議会特別事業

【京都地区協議会】

- (1) 協議会関係
- (2) 運営委員会
- (3) 研究会関係

【阪神地区協議会】

- (1) 会務報告
- (2) 総会報告
- (3) 運営委員会報告
- (4) 研究会報告
- (5) 相互利用担当者連絡会報告

【中国・四国地区協議会】

- (1) 総会
- (2) 研究会関係

【九州地区協議会】

- (1) 総会
- (2) 幹事会
- (3) 研究会関係

1.3 2022年度私立大学図書館協会会務報告

資料により、2022年4月～2023年3月における下記活動内容の報告があった。

1.3.1 協会会務報告

- (1) 加盟校について
- (2) 第83回(2022年度)総会・研究大会
- (3) 東西合同役員会
- (4) 常任幹事会
- (5) 未加盟校への勧誘について
- (6) 会報の刊行について

1.3.2 委員会報告

- (1) 協会賞審査委員会
- (2) 研究助成委員会
- (3) 国際図書館協力委員会

1.3.3 協会関連事項報告

- (1) 国公立大学図書館協力委員会
- (2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会
- (3) 日本図書館協会
- (4) 後援・共催

1.4 2023年度協会役員校、委員会および協会関連団体等委員

資料により、報告があった。

- (1) 役員校(2023～2024年度)
- (2) 委員会
- (3) 協会関連団体
 - 1) 国公立大学図書館協力委員会
 - 2) これからの学術情報システム構築検討委員会
 - 3) 日本図書館協会

2. 協議事項

2.1 2022年度西地区部会決算(案)および監査報告について

2022年度西地区部会会長校松山大学から提出のあった「2022年度私立大学図書館協会西地区部会決算報告」および監事校佛教大学の監査報告資料について、参加校すべての承認を得た。

2.2 2023年度西地区部会事業計画(案)について

役員会で承認された以下の事業計画(案)について参加校すべての承認を得た。

- ①西地区部会総会の開催
- ②館長懇談会の開催 中止

- ③西地区部会研究会の開催（オンライン開催・オンデマンド配信）
- ④西地区部会役員会（年2回）、研究会運営委員会の開催（メール又はWeb会議）
- ⑤各地区協議会活動の援助
- ⑥各地区研究会活動の援助
- ⑦その他

2.3 2023年度西地区部会総会開催概要（案）について

役員会で承認された総会開催概要（案）について参加校すべての承認を得た。

2.4 2023年度西地区部会研究会開催概要（案）について

役員会で承認された研究会開催概要（案）について参加校すべての承認を得た。

2.5 2023年度西地区部会予算（案）について

役員会で承認された2023年度西地区部会予算（案）について参加校すべての承認を得た。

2.6 西地区部会の組織・活動のスリム化について

役員会で承認された、下記2項目の提案について一括審議し参加校すべての承認を得た。

- (1) 「部会総会当番校の廃止」開始時期を2024年度とすること
- (2) 西地区部会会務スリム化検討委員会2023の立ち上げについて

3. 承合事項

- 3.1 私立大学図書館協会2023年度西地区部会総会承合事項、「電子書籍の選書と運用について」提案校（京都外国語大学：京都地区協議会所属）からの、趣旨、回答結果及び所感資料が別添により示された。なお、提案校から協力校への謝辞があった。

4. 確認事項

- 4.1 役員会で確認・承認された、以下事項について資料により報告された。
 - 1. 2023・2024年度西地区部会役員校について
 - 2. 2023・2024年度西地区部会当番校について
 - 3. 2023年度西地区部会関連行事日程について

5. その他

- 5.1 協議事項6について下記のとおり質問および意見を付して賛意が示された

加盟館名	内容
京都外国語大学 付属図書館	<p>(1) 部会総会自体を部会長校が担当することになりますので、開催形式については一律メール会議前提ではなく、その時の部会長校の判断に一任する形でいけばよいのではないのでしょうか。また、メール会議にする場合は形骸化された資料内容への承認だけではなく、懇談事項等を設けて自由に発言してもらい、議事録や別資料を通じて加盟館で共有するというような事をする事で、総会開催の意義が保たれるのではないのでしょうか。資料冊子の作成をやめることは賛成です。</p> <p>(2) 一部地区協議会ではスリム化の取り組みも始まっていますので、スリム化検討委員会はその検証とそれを生かした議論の場になればいいかと思います。</p>

近畿大学農学部 図書館	西地区部会の輪番制の見直しにとどまらず、当初のスリム化の提案の実現に向けて、西地区部会の組織構成全体を見直す方向で動くことができれば良いと思います。
大阪大谷大学 図書館	スリム化については、部会長校始め、各地区理事校も含めて全役員校の業務負担削減をお願いしたいです。現在なんとか業務遂行しておりますが、今後の本学の人員他の状況考えると大幅な業務削減もしくは業者委託等の抜本的な改革がなければ業務担当の維持継続は無理であろうと考えております。
大阪歯科大学 図書館	まず、大学を取り巻く環境、特に18歳人口の減少は年々、大学経営の厳しさと直結していることは言うまでもありません。入学者の定員確保、就職率の向上等の優先する課題の中、人件費増という社会情勢も加わり、大学職員数の削減や業務委託への移行、そして図書館に係る予算減等は、各大学の状況が、これまでとは大きく異なってきています。そのような状況で協会運営を検討するのであれば、必要最小限の内容と対応を検討し、省力化することは必然と考えます。従前どおりではなく、全協会・各地区で俯瞰した運営に変わる時期だと思えます。是非、組織・活動のスリム化を進めてほしいと思います。
姫路獨協大学附属 図書館	この事項については、提案内容が(1)、(2)の2件あるので、それぞれについて意思表示できるよう、協議事項6-(1)、6-(2)のように、分割する方法もあり得たと思われまます。
甲南女子大学 図書館	<p>総会のメール会議化、研究会のオンライン化が承認されるのであれば、総会と同じ時期に研究会を行う必要性がないのではないのでしょうか。以前は対面で行うことを前提としてスケジュールリングされ（総会、研究会の同日開催）、効率化を図れたのだと思います。午前中の総会で、午後に研究会を開催することが承認されたので、同日開催が可能となっていました。今回の場合、メール審議の結果（承認されたかどうか）が分からないうちに、研究会が開催されることになり、いささか違和感を感じます。</p> <p>協議事項6には2点の項目があり、どちらも承認、またはどちらも承認しないしか、選択することができません。</p>
関西大学総合 図書館	<p>スリム化を検討する委員会を設置されることには賛成します。担当される委員の皆さまには検討にかかるご負担をお願いすることとなり、感謝申し上げます。</p> <p>スリム化については、昨年度の総会でも意見としてお伝えしましたが、西地区部会にとって、また特に部会長校の輪番を担当する大学にとって、重要な事項だと考えます。</p> <p>そのため、検討内容に関する情報開示と、対面が難しければオンライン開催でも構いませんので、加盟館が直接に検討の内容について質問できる機会を設けていただきたく考えます。また、「収容定員数を基準とし、専任職員数を考慮する」の「考慮する」が何を意味するのかについても、引き続きご検討いただけますと幸いです。</p>
川崎医療福祉大学 附属図書館	<p>西地区部会の組織・活動のスリム化については、「西地区輪番制の見直し」の取り掛かりとして「まず部会長校の輪番制を見直す」と理解しておりますので、部会長校輪番の見直し・開始年度の早期決定、残る部会研究会当番校等の輪番見直し・開始年度の決定へと進むことを期待しています。</p> <p>役員の皆様方におかれましては、具体案の策定等大変な業務であり申し訳ございません。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>

松山大学図書館	会議形式はメール会議でよいと思うのですが、口頭で説明できないことを踏まえ、決算や予算については、各内訳を大まかに説明した補足資料があったほうがよいように思います。
---------	---

以上